

令和4年度 小中合同研修会のまとめ

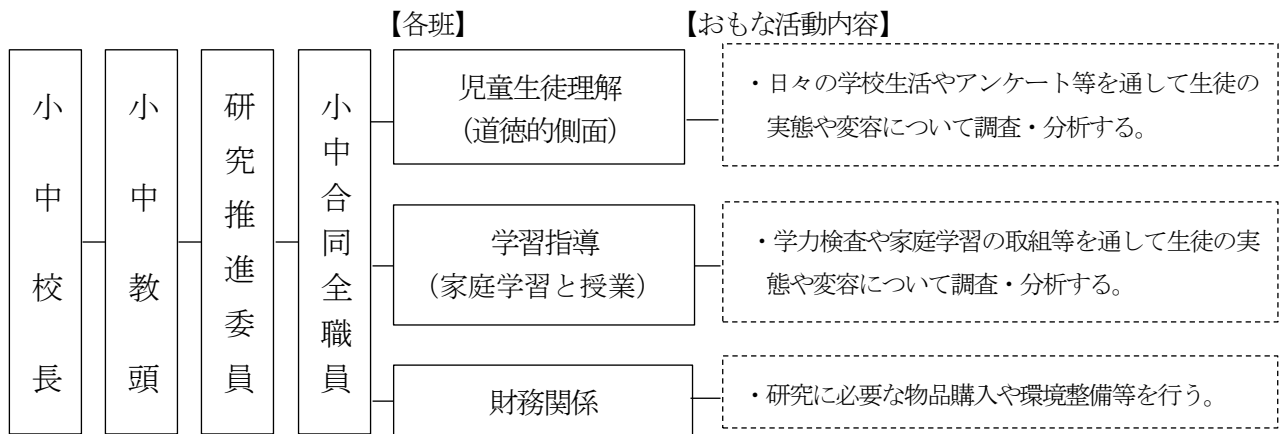
吉田北中・吉田小 研修係

1 令和4年度担当校 吉田北中学校

2 小中合同研修研究主題

一人一人に確かな学力をつけるための教育活動の実践（2／3年次）
～GIGAスクール構想の実現に向けた小中連携の在り方について～

3 小中合同研修組織



・各班のメンバー

- 児童生徒理解【顧問：校長（吉田北中学校）、教頭（吉田小学校）】
小学校〔6名〕
中学校〔5名〕
- 学習指導【顧問：校長（吉田小学校）、教頭（吉田北中学校）】
小学校〔5名〕
中学校〔5名〕
- 財務関係
小学校事務 中学校事務

4 研修の実際

回	期 日	内 容	会 場
1	4月8日	今年度研究テーマ・研修計画の確認	吉田北中パソコン室
2	5月30日～6月3日	小中連携授業参観（小学校が中学校を参観）	吉田北中各教室
3	8月1日	各班の中間発表と研究授業に向けて	吉田北中パソコン室
4	10月17日	研究授業・授業研究	吉田北中1年教室・理科室
5	11月1日～11月7日	小中連携授業参観（小・中相互参観）	吉田小・吉田北中各教室
6	1月10日～1月20日	小中連携授業参観（中学校が小学校を参観）	吉田小各教室
7	2月13日	今年度の研究の成果と課題のまとめ	吉田北中パソコン室

5 令和4年度の成果と課題 (○：成果、※：課題等)

【児童生徒理解班】

- 小中間の共通理解を図る機会になったと思う。
- 年に数回でも、中学校の先生方と意見交換など行い生徒の様子や活動などをお聞きすることができよかったです。
- ロイロノートを活用し、学校生活アンケートなどを実施することができた。(4～6年) 業務改善にもつながっている。
- ※ 近くにありながら小学生のことを知る機会が少ない。コロナが落ち着いて、少しずつ交流が増えることを期待している。
- ※ あいさつや廊下歩行については、引き続き指導が必要である。
- ※ 不登校傾向の生徒への対応についての研修ができればよい。

【学習指導班】

- 一人一台端末の拡充で、ICT活用の機会が増えた。
- 中学校での基本的な学習習慣を意識した指導を6年生には心がけさせたい。
- 実態に合わせて家庭学習の量を調整し、意欲的に取り組めるようにした。「吉田っ子」や学級通信、PTAの際にお願いをしている。
- ※ メディアの使用時間が多いため、家庭学習の時間確保・生活リズムの構築がなかなか難しい。家庭教育スタンダード・ノーメディアチャレンジの活用を継続して意識づけや家庭との連携を図りたい。
- ※ ICTの研修をするなど、ある程度の扱い方を学ぶことができたが、実践で使う場面が少なかった。

【研究主題における成果と課題】

- ICTを活用した学習指導について研究することで教員の意識が高まり、ICT機器の基本的な操作方法や活用法を研修する機会となり、児童生徒の情報活用能力の向上につながった。
- 小中間の情報交換を密にすることにより、効果的な関わり方や指導方法などを共通理解することができた。
- ※ 小中連携のメリットを活かし、9年間を通して子どもたちの発育・発達の段階に応じたICTへの取り組みを構築・実践し、成果や改善点を共有していく。



小中合同職員研修の様子



研究授業(1年英語)の様子



小中合同授業研究の様子